

# 学び合いの会

# 2024

真生会館「学び合いの会」は、信徒による企画・運営によって、21世紀を旅する教会のあり方を問い続ける集まりです。互いの言葉に耳を傾け、体験を通して学び合い、成熟した信仰者として現代社会に生きる姿勢を模索しながら活動しています。

2024年の学び合いの会は例会を休会とし、3月から11月までの奇数月<分科会>を開催します。2013年の教皇フランシスコ就任によって教会全体が第2バチカン公会議以来の大きな節目を経験しています。学び合いの会は過去7年間、教会刷新を目指すフランシスコ教皇の思想を学びながら、改めて「神の民としての教会」のあり方を考えてきました。今年は、現行経済システムとは根本的に異なる新たな経済システムの基礎を解説した、バチカン教理省2018年論文：“[Oeconomicae et pecuniariae quaestiones](#)” – 「現行経済金融の様々な問題点」を読み解きます。

例 会： 2024年は「休会」とします

分科会： “[Oeconomicae et pecuniariae quaestiones](#)”の精読

フランシスコ教皇が提唱する「新たな社会経済システム」は、2020-2023の計4回のEoF (Economy of Francesco) 大会において具体的イメージが明らかにされました。その基調論文となる、バチカン教理省論文：“[Oeconomicae et pecuniariae quaestiones](#)” – 「現行経済金融の様々な問題点」は、教皇からの依頼を受けた教理省が、高次統合人類発展市民評議会と協力して上梓し、計4回のEoF大会に先駆けて2018年1月に発表されました。今年の分科会はこの論文を5回に分けて読み解きます。

第1回(3/16)：I. Introduction (試訳)、第2回(5/18)：II. Fundamental Considerations の前半、第3回(7/20)：II. Fundamental Considerations の後半、第4回(9/21)：III. Some Clarifications in Today's Context の前半、第5回(11/16)：III. Some Clarifications in Today's Context の後半とIV. Conclusion

- 場 所： 当面はZOOM利用のオンライン開催になります。
- 日 程： <分科会> 2024年3月～11月の奇数月第3土曜日  
3/16 5/18 7/20 9/21 11/16 (全5回)
- 時 間： 午後1時30分～3時30分
- 参加費： 1回につき500円 (納付方法は追ってお知らせします。)
- 問合せ・分科会参加申込先：齋藤 旬 Mail: [jun.j.saito@hotmail.com](mailto:jun.j.saito@hotmail.com)

オンライン初参加の方は事前にお問い合わせ下さい。